

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2010年7月定例会議議事録

◎ 開催期日：2010年7月7日（水） 午後16時00分より

◎ 開催場所：(株)PADI JAPAN 会議室

◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社エヌズ	細川	俊一
☆CMAS=JEFF	株式会社ジェフ	後藤	勝之
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	市原	隆久
☆JCS	(株)日本海中技術振興会	佐藤	矩郎
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆JP	JPインターナショナル	田中	大祐
☆オブザーバー	静岡県ダイバーズ協議会	我妻	亨

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① スクーバ協会依頼事項：公称上のアクティブダイバー総数業界統一について

- 審議の結果、以下の通り決定した

ダイバーの累計エントリー数130万人の内、継続教育の参加率がおよそ30%である事から、現状のアクティブダイバー数は公称40万人前後である事が確認された。

② その他

- 南越前ダイビングパークよりC協看板の設置依頼の件

南越前ダイビングパークに対し、C協より看板データを提供する事が決定した。

具体的に設置が決定した時点で、看板使用に関する「覚え書き」を作成し、南越前ダイビングパークの了解の基、看板使用を了承する事が決められた。

- 静岡県ダイバーズ協議会：業界改善策の提案の件

静岡県ダイバーズ協議会より、「ダイビング業界景気改善への提案」書が提出され、同提案書の説明があった。

C協としては、地域主導の企画があればこれを支援する方向で協力する事が決定した。

以上